梅北だより

第１回学校評価特別号

令和2年　10月　　8日
京都市立梅津北小学校
校　長　　　森川　和樹

令和2年度第１回学校評価結果のお知らせ

保護者の皆様には，お忙しい中７月に実施しました「学校評価アンケート」にご協力いただき，ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。
梅津北小学校が学校教育目標の実現に向けて，特に大事にしたいことに絞ってアンケートをとり，保護者・児童（低学年，高学年）・教職員の３者を比較できるようにしました。継続すべきところ，改善すべきところを明らかにして，今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

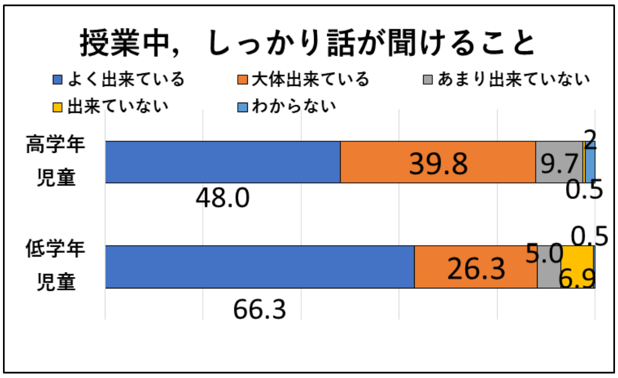
アンケートの方法

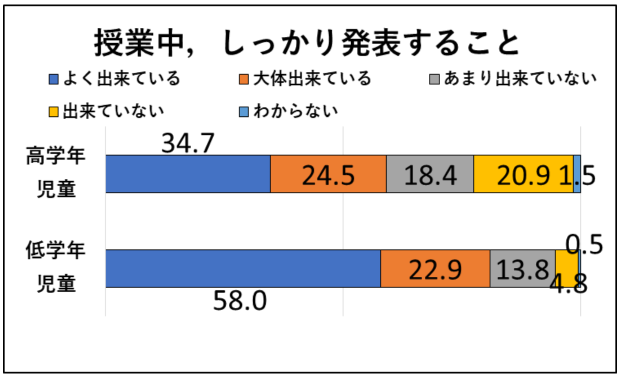
アンケートの項目を，【確かな学力】【豊かな心・健やかな体】【学校・家庭・地域の連携】のグループに分け，それぞれの項目について「重要度－実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき，重要度・実現度がともに高い項目は比較的肯定的なご意見が多く，重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

アンケート結果より

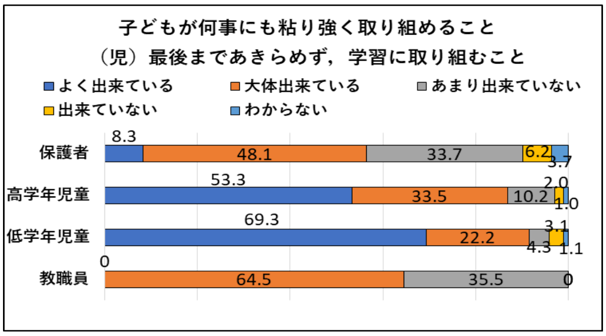
※実現度についてグラフ化しています。
※（　）は，児童用アンケートの文言です。
※全項目は掲載できませんので，ご了承ください。

【確かな学力】





◆『授業中，しっかり話が聞けること』では，低学年児童・高学年児童とも８０％以上が「よく出来ている・大体出来ている」と答えています。先生や友だちの話を，伝えたいことは何かをつかんだり，自分の考えと比べたりして聞いています。その姿勢が，「学習がよく分かること」につながります。
一方◆『授業中，しっかり発表すること』は，低学年児童では８０％以上が「よく出来ている・大体出来ている」と答えているのに対して，高学年児童では６０％未満となっています。今年度，新型コロナウイルス感染症対策により，授業における話合い活動の機会が少なくなっていることも原因の一つに挙げられますが，学年が上がるにつれて，自分の考えが発表できていない様子がうかがえます。本校の目指す子ども像に「自分の考えが言える子」があり，**「伝える力」の育成**に重点をおいて取組を進めています。それぞれの学年でめざす子どもの姿を明確にしながら，指導を進めているところですので，第２回のアンケートの数値の変容を確認したいと思います。



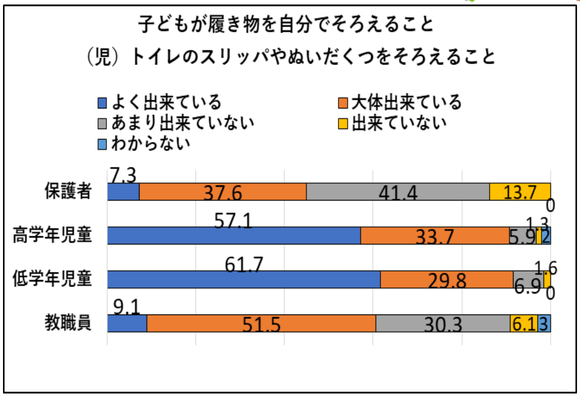
◆『子どもが何事にも粘り強く取り組めること』は，約８０％以上の児童が，「よく出来ている・大体出来ている」と答えています。教職員・保護者は５０～６０％が「よく出来ている・大体出来ている」と答えています。授業の様子を見ると，一生懸命課題に向き合う児童の姿が見られます。周りの大人は子ども達の取り組み方を見極めつつも，しっかり認め，励ましていくことが，さらなる頑張りにつながっていくと思います。

[自由記述欄より]

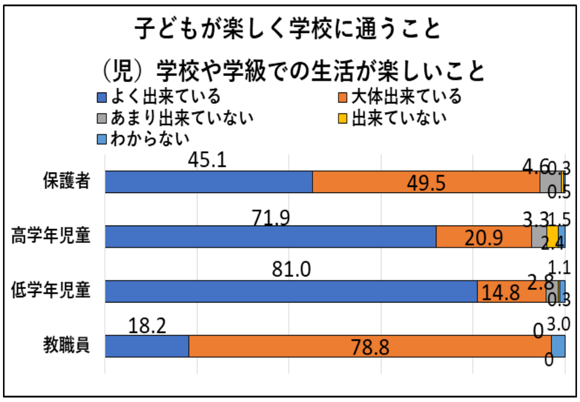
〇授業後の補習や授業時間を短縮して授業数を増やすなど，遅れた分を取り戻すために大変よく対応されていると思います。
〇休校期間が長かったので，勉強の遅れを取り戻せるか心配です。
〇学期が終わり，子どもたちの不得意な分野をどうしたらよいか不安です。
〇子どもが楽しみにしていた「山の家」が中止になったことは残念です。コロナ予防しながら楽しく学校生活を送ってほしい。

⇒４・５月に新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休校となり，ご家庭でのご協力を得ながら，課題プリントやホームページ，動画配信により学習支援を進めてきました。学校が再開した６月からは，行事・取組の精選や７時間授業など，児童に負担のかからない形での授業時間の確保を全校で進めています。これにより，それぞれの学年で各教科の配当時間は確保できています。何より子どもたちの学習の状況をつかみながら，必要に応じて補習などの時間を使って，学習の補充も進めていきたいと考えています。新型コロナウイルス感染症予防のため，話合い活動など児童が互いに考えを伝え合う場が少なくなっていますが，密にならない様々な形で考えの交流を図れるように，授業の工夫を図っています。年間を通した校内研修を行い，教員が授業を参観し意見を出し合ったり，校外で研修してきた内容を教職員に伝達したりして，学校全体で「伝える力」の育成に取り組んでいます。

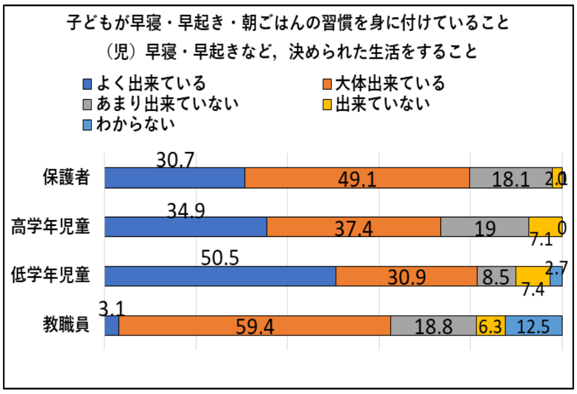
【豊かな心・健やかな体】



◆『子どもが楽しく学校に通うこと』で，「よく出来ている・大体出来ている」と答えた割合は，保護者・教職員・児童とも非常に高い割合となりました。学校が再開し，学校での活動や友達との関わりを楽しいと感じている児童が多く，保護者・教職員ともに，楽しんでいる様子を実感しています。しかし，学校を楽しくないと感じている児童がいることは見過ごせません。今以上に子ども達の声に耳を傾けながら，時には励まし，時には共感する声かけをしながら，寄り添っていくことが大切です。



◆『子どもが履き物を自分でそろえること（トイレのスリッパやぬいだくつをそろえること）』では，「よく出来ている・大体出来ている」と答えた児童の割合が９０％を超えていました。学校の靴箱やトイレのスリッパを見ると，きれいにそろっている様子が見られ，多くの子ども達が意識して取り組んでいます。しかし，保護者・教職員で「よく出来ている・大体出来ている」と答えた割合と比べると，大きな差がありました。学校では全員が意識して取り組めていない様子があり，家では靴をそろえていない現状があるということです。脱いだ靴への意識，家庭でもそろえる意識を声かけしていきたいと思います。



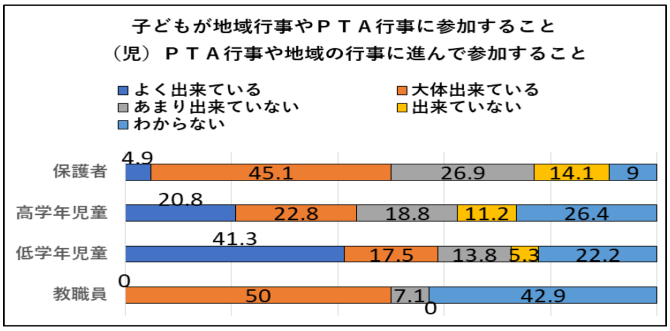
◆『子どもが早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付けていること（早寝・早起きなど，決められた生活をすること）』では，「よく出来ている・大体出来ている」と答えた保護者・児童の割合はそれぞれ約７０％以上でした。決して低い割合ではありませんが，高学年になるにつれ数値が低くなっており，「あまり出来ていない・出来ていない」と答えている児童が５人に１人だと考えると見過ごせません。休校期間中からゲームやスマートフォンの使用時間が長くなり，就寝時刻が遅くなったということをよく聞きます。体調不良を訴える子どももいます。ご家庭でも，使用のルールを今一度ご確認ください。

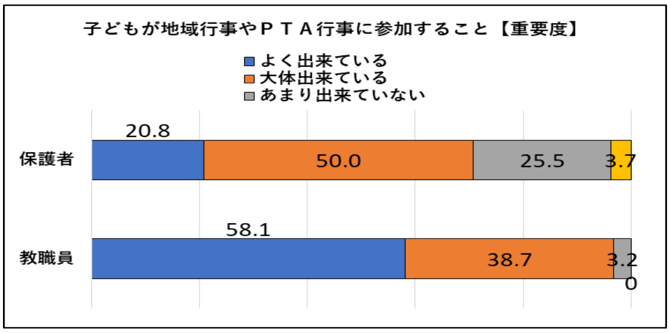
［自由記述欄より］

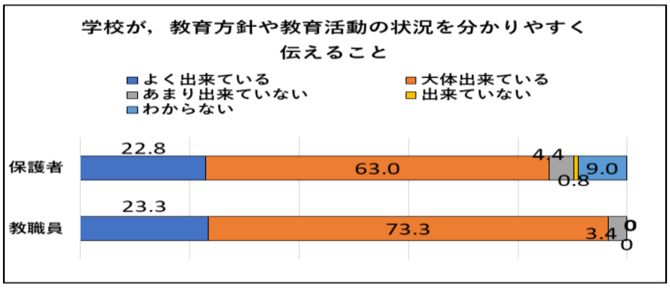
〇ようやく６月からスタートし，先生方の準備のおかげで，楽しく学校へ行っています。
〇コロナの影響でクラス分けてスタートしたので，クラスの一体感など仲間意識が伴っているのか不安です。また，今後，仲間意識ができてくることを期待したいです。
〇休校あけ，子どもが友だちと会えてよかった，算数で新しいことを教えてもらえてよかったと言っており，学校の重要性をとても感じました。
〇朝や休憩時間に「離れなさい，喋ったらダメ」と注意され制限を強いられてばかりで，学校へ行くのが楽しくないと言っているので，期待と不安でいっぱいの小１の子どもたちの気持ちにもう少し寄り添ってもらえたらなぁと思います。

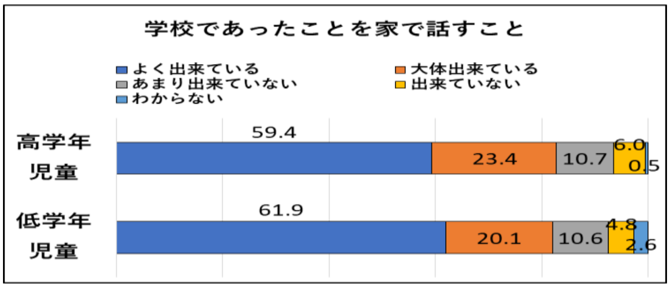
⇒休校期間があり，６月から本格的なスタートとなりましたが，学校で友達と会えたり，学習できたりと，学校は楽しいと感じている子どもたちが多いです。しかし，授業だけでなく休み時間もソーシャルディスタンスをとることから，児童同士の関係を築きにくいと感じている児童もいます。例年より学級開きが遅くなりましたが，学級で係活動やみんな遊びをしたり，授業の中で学級として共通の課題を協力して解決したりして学級の一体感を高め，児童同士の関係づくりを意図的に仕組んでいきます。

【学校・家庭・地域との連携】









◆『子どもが地域行事や PTA 行事に参加すること』は，「よく出来ている・大体出来ている」と答えた割合は，保護者・児童とも５０％前後となりました。昨年度より下回っていますが，それは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から，多くの PTA 行事や地域行事が中止となったことが原因の一つになっています。同じ設問の【重要度】も昨年度より下回っているものの，７０％以上が参加することが重要であり，子ども達にとって地域やＰＴＡの行事は必要だと感じておられます。児童は行事への参加を通して，地域の方と触れ合ったり役割を担ったりすることで，自己有用感を感じ取り，それを自分の力としていきます。PTA・地域の方々には，常に子どもたちのことを考え，行事実施の可否を考えていただき誠にありがとうございます。忙しい中で取組を継続していくことは容易ではないですが，児童が成長する大切な機会ですので，来年度以降，状況に応じて学校・家庭・地域と力を合わせて行っていきたいと思います。

◆『学校が，教育方針や教育活動の状況を分かりやすく伝えること』も，保護者・教職員のみの設問です。「よく出来ている・大体出来ている」と答えた割合は高く，８５％以上となりました。今年度は４月から休校になったこともあり，休校期間や学習の進め方など，おたよりに加え，学校のホームページやメール配信，YouTube を中心として情報を発信いたしました。ホームページは休校期間中だけでなく現在も多くの保護者の方にご覧いただき，学校からのお知らせや子ども達の様子を知る手段としてご活用いただいています。また，児童のみの設問である◆『学校であったことを家で話すこと』は，「よく出来ている・大体出来ている」と答えた割合は８０％を超え，こちらも高い割合でした。学校発信の情報だけでなく，保護者の方から子どもたちの話に丁寧に耳を傾けてくださっていて，それが子どもたちの大きな安心感となっています。今後も大切にしていきたいと思います。

［自由記述欄より］

〇今年度，PTA 活動がありませんが，特に支障がないように思います。例年のように役員を仕方なしに引き受けるというやり方より，各委員の仕事を全保護者でできる人がやればよくないでしょうか。
〇行事や地域行事，PTA などは今まで通り行うことは難しいかと思いますが，子どもの成長のため，皆で何か良い方法を考えていけたらいいなと感じています。
〇PTA の仕事負担を減らしてほしい。コーラスなどは必要ないと思う。
⇒毎年，PTA について多くのご意見をいただきます。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により，PTA 行事の中止や，役員を選出しないことなど，状況に合わせた形での運営をされています。例年行っているから同じ形で実施するというのではなく，取組や進め方はその時のメンバーで話し合って，状況に応じた形を考えていただければと思います。一方で，PTA 活動に関わってくださった保護者の方からは，「学校と話すことが増え，今まで知らなかった面に気づいたり，子どもたちの普段の様子を見たりでき，PTA に関わることができてよかった。」というご意見もいただいています。双方の考えを取り入れながら，今後も PTA 活動を継続していきたいと思います。

〇子どもたちはこれまでと変わらず通学していますが，感染防止の取組がどのように，またどの程度行われているのか見えてこないので，いつ感染してしまうかと日々心配しています。
⇒６月の学校再開以降，「うまきた」を合言葉に，うがい・手洗い，マスク着用，距離をとる，体温をはかることを意識して行い，感染予防としてきました。また，教室・教具など共用部分の消毒なども続けています。手洗い場の蛇口をレバーハンドルにしたり，壁掛け扇風機の新調や網戸の設置をしたりと，校舎の設備面でも感染症対策を行っています。子どもたちも感染症予防を意識した行動をとっていますが，日常として行えるように，今後も声をかけていきます。

〇例年と違って，学校の年間行事スケジュールが出ないのは大変不便に感じます。
⇒今後の行事予定は学校だより９月号に掲載しています。今年度は行事予定のお知らせが例年よりもずれ込み，ご不便をおかけしています。京都市教育委員会の方針や社会情勢などを踏まえて実施の可否を判断しています。今後の行事についても決まり次第，学校だより等でお知らせしていきます。

【学校運営協議会でのご意見】

◎４・５月の臨時休業期間中に，学校が作成した YouTube の学習動画を公開していたことは，家庭での学習の支援になってよかったのではないか。
◎教室の換気は寒くなってきたら大変だと思うが，夏の暑い時期には定期的に扉や窓を開けて換気をしていたようなので，同じように続けていくことが大切だ。
◎教職員で校舎内を消毒しているとのことだが，消毒を専門に行う人が必要ではないか。現在も教室だけでなく，校舎全てを消毒しているのは安心だ。
◎登下校の子どもたちを見ると，今までと同じく元気な様子で，安心している。
◎学校では新型コロナウイルス感染予防のため，マスクの着用をしていることが分かった。ただ，夏の熱中症が心配な時期や体育の授業の時など，子どもの安全のためマスクを外してしゃべらないようにしてることも分かった。
◎自由参観は多くの保護者が来校したことを聞いて，よかったと思った。
◎休日の運動会は実施しないが，体育参観を行うのはよいと思った。
◎学校評価アンケートの回収率が 90%前後あり，保護者が学校の取組に関心を持たれているのはいいことです。
◎学校だよりの文字が薄くて小さく読みにくい。学校のホームページでは写真がたくさん見られ，学校の様子がよく分かる。ただ，地域や PTA の活動の様子は紹介されないので，保護者の皆さんに活動を知ってもらうためにも，紹介してほしい。

いろいろなご意見をいただき，ありがとうございました。いただいた全てのご意見は掲載できていませんが，ご意見・アンケート結果について，全教職員で共有しています。その中から，成果としてとらえられる項目に関しては，今後も継続して取り組んでいき，課題としてあげられる項目については，保護者の皆様のお声を真摯に受け止め，学校として改善につなげたいと思います。ご協力ありがとうございました。